

木賊川の分水路完成報告会を開催しました！

河川課
盛岡広域振興局 土木部

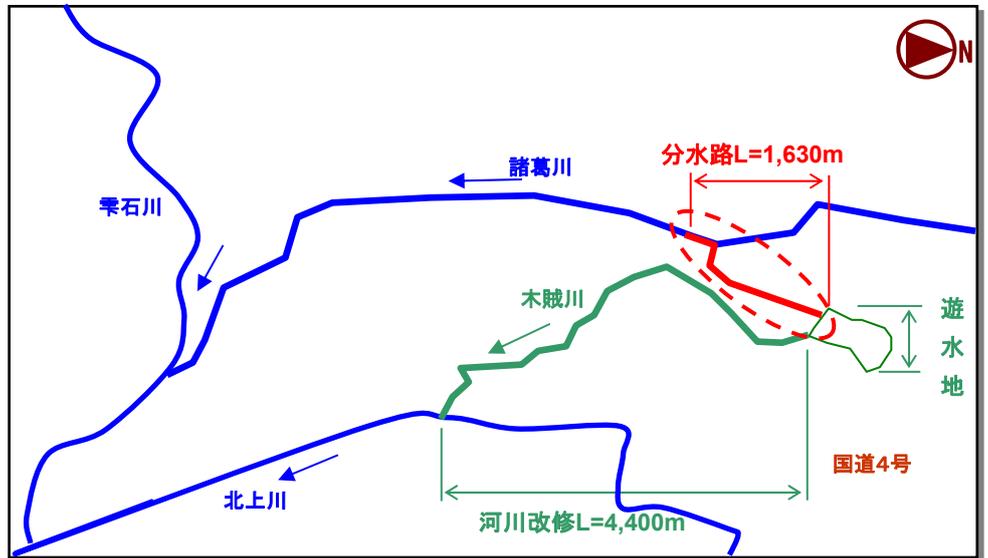
県が洪水対策として工事を進めてきた、一級河川木賊川の分水路が完成し、平成23年11月2日（水）に完成報告会を開催しました。

木賊川は、河川断面が狭小であることから度々浸水被害を受けており、平成14年7月の台風6号では、家屋浸水99戸の甚大な被害が発生し、さらに、平成17年8月にも集中豪雨により、家屋浸水7戸や国道4号が冠水により一時通行止めとなるなどの甚大な被害を受けたため、平成19年度から分水路整備区間を緊急対策特定区間に設定し整備を推進してきたものです。

平成14年7月浸水状況



【位置図等】



分水路完成状況



【報告会】

報告会は、滝沢村役場において関係者ら約50名が出席し行われ、盛岡広域振興局土木部長、滝沢村長、盛岡市長（代理：建設部長）、の挨拶に続き、事務局から事業経過報告を行いました。

その後、地元郷土史を研究している漆戸邦夫さんを講師に迎え、「木賊川の歴史について」と題し、ご講演を頂きました。

【今後の予定】

今後は、遊水地の建設に着手し、本川の改修と合わせて順次推進することにより、段階的に治水安全度の向上を図っていく予定です。

また、関係機関と地域住民で構成している木賊川洪水対策連絡協議会において、毎年、事業の進捗状況などの情報共有を行っていくこととしています。



報告会での野中土木部長の挨拶